

## 導入事例

## 日本エスリード株式会社 様

導入サービス ■ Microsoft Azure Solution

## お客様プロフィール

## NE 日本エスリード

所在地	大阪市福島区福島6-25-19
設立	1992年5月
資本金	19億8,300万円
代表者	代表取締役社長 荒牧 杉夫
従業員数	516名（グループ会社含む 平成 27年10月1日現在）
事業概要	マンション分譲事業、建て替え分 譲事業、賃貸事業 他
URL	<a href="http://www.eslead.co.jp/">http://www.eslead.co.jp/</a>



日本エスリード株式会社  
事業本部 企画課  
天谷 勇一氏



日本エスリード株式会社  
情報システム室  
池尻 陽一氏

サーバーインフラの刷新にあたり、オールクラウド環境の提案をしてくれたのは、ソフトバンク・テクノロジーだけでした。今後は、Microsoft Azure をインフラとしたデジタルマーケティングのパートナーとしても期待しています。



## 導入のポイント

- 「クラウドファースト」を具現化するパートナーベンダーを選定
- ファイルサーバーのクラウド化により、運用負荷とコストの削減に成功
- デジタルマーケティング基盤と Microsoft Azure の連携に期待

## 抱えていた課題、解決したかったこと

## クラウドファーストの実現、システムの活用や企画・立案といったコア業務に集中できる環境を目指す

1992年の設立以来、「住む人の立場に立った住まいづくり」を目指し、マンション・ビルの開発・分譲から、アフターサービス・管理、仲介まで一貫した事業を展開する総合ディベロッパー「日本エスリード」。近畿圏におけるマンション供給数はトップクラスを誇り、長期にわたり安定した供給を続けている。

同社では、2015年、ハードウェアの老朽化とサーバーOSのサポート終了を契機に、ファイルサーバー環境を更改。新たにMicrosoft Azure環境でファイルサーバーとAD（Active Directory）の運用を開始。その方針として打ち出されたのが「クラウドファースト」というキーコンセプトだった。

クラウドのメリットを最大限に活用し、情報システム部門がシステムの活用や企画・立案といったコア業務に集中できる環境の実現と、専門家としてサポートしてくれるパートナーの選定に着手。標準的な技術の活用でシステム構成をシンプル化し、導入・運用コストの削減、空き容量不足や保守サポート切れへの対応、システムメンテナンスの属人化解消を目指した。

- 「クラウドファースト」をキーコンセプトに老朽化したファイルサーバーを更改
- 運用保守負荷の削減、属人化の防止、空き容量不足への不安といった課題の解消
- 「クラウドファースト」を具現化するパートナーベンダーの選定選択

## 導入の要件

### 柔軟性、拡張性、対応力というポイントを基本にシステムとサポートベンダーを比較検討

ファイルサーバー刷新の提案およびパートナーを選定するにあたり、具体的なシステムインフラの要件として、柔軟性、拡張性、対応力というポイントを基本に比較検討を実施。情報システム部門がコア業務に集中できることに加えて、「複数拠点から大容量データの快適かつセキュアなアクセスの実現」や「業務システムやマーケティングシステムとのデータ連携のしやすさ」も重要だったと語る。

- 安全かつ高速で、保守運用の負荷のかからないシステムインフラ
- 他のシステムへの展開やデータ連携ができる柔軟性や拡張性を重視
- サポートベンダーには、クラウドだけでなく幅広い分野における経験やノウハウに期待

また、パートナーについては、システムの要件を満たす提案・構築・サポートができることに加えて、「クラウドに詳しく、システムインフラの構築・メンテナンスからアプリケーションやデジタルマーケティングに関する技術的なサポートまで、幅広く対応してもらえる規模と経験、ノウハウを持っていること」という厳しい要求だったが、これに唯一応えたのが、オールクラウドで提案したソフトバンク・テクノロジーだった。

## ソフトバンク・テクノロジーを選んだ理由

### Microsoft Azure をベースとしたオールクラウドの提案、幅広い分野に精通した経験とノウハウ

「オールクラウドの環境を提案してくれた唯一のベンダー」だったことが、ソフトバンク・テクノロジーからの提案を採用した大きな理由となったが、その提案内容はクラウド一辺倒ではなく、検証の結果、日本エスリードの環境に適さない、もしくは十分なパフォーマンスや安全性が担保できないと判断した場合は、オンプレミス併用するハイブリッド環境の提案も含まれていた点も高く評価しているという。

Microsoft Azure という先進的かつ信頼性の高いクラウド上で、ファイルサーバーやADを安定的に運用するだけでなく、将来像を

見据えた提案だった点や、ソフトバンク・テクノロジーが、システムインフラからクラウド、マイクロソフトソリューション、デジタルマーケティングまで、幅広い領域でレベルの高いサービスを提供しており、各分野における業界屈指の専門家がいる点も安心感があつたと語る。

本プロジェクトにおける一連の対応を通して、高度でテクニカルなことでもわかりやすく、ユーザー視点で教えてくれる、相談に乗ってくれる「理想的なパートナー」と言わしめるほど、スピーディーでの確な導入支援やサポートは非常に高い評価を受けた。

- 経験とノウハウに基づいた、クラウドソリューションに期待
- リスクの回避案も含めたきめの細やかな提案を評価
- Microsoft Azure とデジタルマーケティングにおいて業界屈指の専門家がいる安心感

## 導入効果と今後の展望

### 運用負荷軽減とコスト削減を実現し、さらなるクラウドインフラの活用を検討

事前に主要拠点で通信速度を検証を行ったこともあり、導入検討時に指摘された転送の遅延などは発生しておらず、ファイルサーバーおよびADは順調に稼働している。運用保守に関しても、バックアップ用テープの交換などが不要となり、容量不足などの不安からも解放されたことで、負荷軽減とコスト削減に結びついているという。

同社では、不動産物件情報の入手方法としてインターネット利用割合が増加していることを受けて、デジタルマーケティングを積極的に活用しており、Microsoft Azure との連携など、さらなる強化を目指している。また、クラウド化の推進より、情報システム部門がIT活用を提案できる体制を整備し、リアルとウェブの両面からお客満足度の向上を目指していく構えだ。これらを実現するパートナーとして、ソフトバンク・テクノロジーの実績やノウハウに期待しているという。



ソフトバンク・テクノロジー株式会社 今井 裕晶 (写真左端)  
牛上 貴司 (写真左から2人目)

- 事前に通信速度などを確認することで稼働後のトラブルを回避、運用の手間とコストも削減
- 情報システム部門のコア業務をシステム運用から業務支援にシフト、リアルとウェブで満足度の向上を目指す
- 推進しているデジタルマーケティング基盤と Microsoft Azure の連携に期待

## お客様窓口

### SBテクノロジー株式会社

〒160-0022

東京都新宿区新宿 6丁目27番30号 新宿イーストサイドスクエア 17階

TEL : 03-6892-3154

E-MAIL : sbt-ipsol@tech.softbank.co.jp

URL : <http://www.softbanktech.co.jp/>